

ディファレンシャルGPSによる調査業務の効率化

海上保安庁設置のビーコン基準局が東日本地区でも運用開始され、ディファレンシャルGPS DGPS受信機が広く利用されるようになってきました。今までGPS受信機で高い精度を得るためには、2台以上のGPS受信機による観測が必要でした。海上保安庁が日本全国各地にビーコン基地局を設置したことにより、移動側だけで高い精度で位置を確定できる方法が普及してきました。ビーコン受信機内蔵型ディファレンシャル受信機の出現により調査・測量業務は大きく変わりつつあります。

< DGPSにより生産性が大きく上がる可能性のある業務 >

生態調査、植生調査・森林資源管理、農業、通信、電力、地質調査、地図作成修正業務、上下水道・ガス管類管理、災害調査、道路地物管理、環境調査、公園管理

